



部活動改革だより

No. 2

- ・国・県の動き、柴田町の現状
- ・部活動地域移行アンケート結果

令和5年8月21日発行

柴田町教育委員会 スポーツ振興課・教育総務課・生涯学習課

中学校の部活動は、生徒の多様な学びや活躍の場として大きな役割を担ってきましたが、生徒数の減少による廃部や休部、活動の縮小や指導経験がない教員への負担などが課題となっていることから、文部科学省では、公立中学校の部活動を地域のスポーツクラブ活動・文化クラブ活動へ段階的に移行する方針を示しました。

部活動改革の目指す姿は、生徒の多様なニーズに対応したスポーツを広く楽しむ機会を、地域において広く確保していくこととしています。

【国・県の動き】

- 令和4年12月 スポーツ庁並びに文化庁は、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定。

新たな地域クラブ活動の在り方や運営体制、活動内容等について、地域の実情等に応じ、関係者の共通理解の下、できるところから取組を進め、可能な限り早期の実現を目指すよう、各自治体に求めています。

- 令和5年3月 宮城県・宮城県教育委員会は、「学校部活動と地域のクラブ活動等のガイドライン」を策定。

中学校の部活動を地域活動に移行することを念頭に、令和5年度を「移行検討期間」令和6年度以降を「改革推進期間」として準備が整った市町村から地域の活動に移行することとしています。

【柴田町の状況】

- 令和4年10月 町内の中学1・2年の生徒及び保護者を対象に「休日の部活動の地域移行に関するアンケート調査」を実施
- 令和5年10月「柴田町学校部活動地域移行検討協議会」の設置（予定）

柴田町では、現在の中学校の部活動の現状や生徒及び保護者のニーズを踏まえ、新たな「地域スポーツ・文化クラブ活動」の在り方や運営体制、活動内容等について、スポーツ団体及び文化団体、学校関係者などの意見をいただきながら検討することとします。

(アンケート結果は裏面)

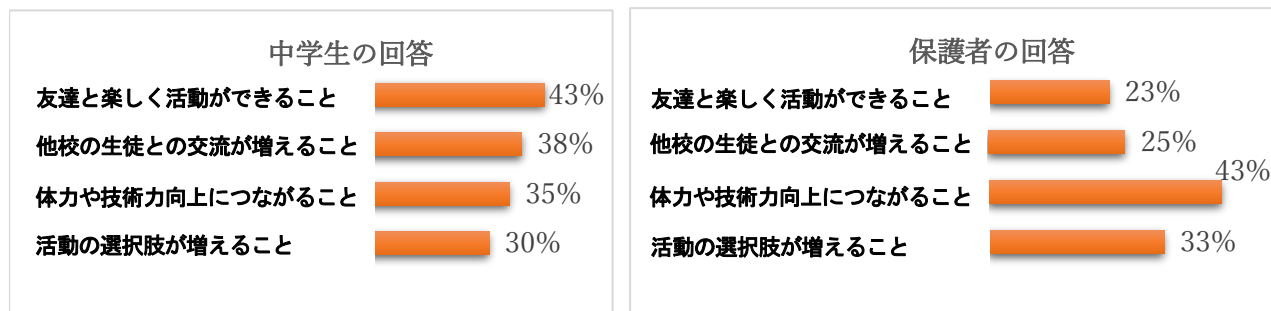
【部活動の地域移行に関するアンケート結果報告】

(アンケート回答人数)

中学2年生	173人
中学1年生	267人
合計	440人

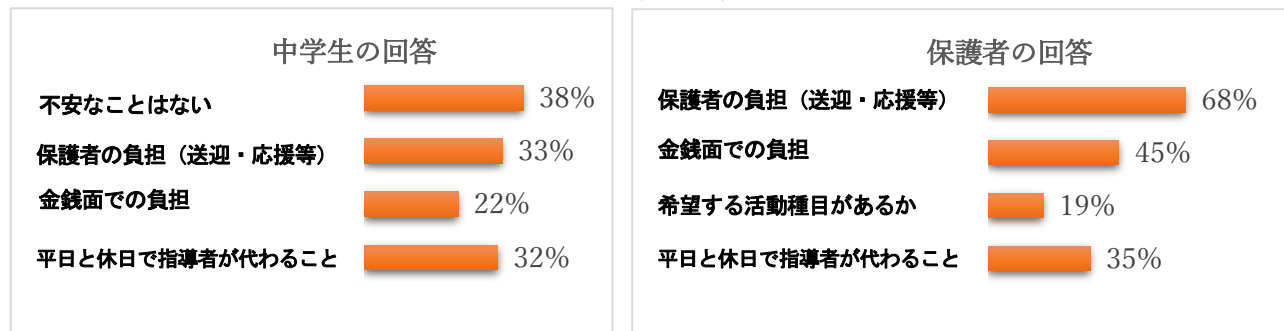
中学2年生(保護者)	64人
中学1年生(保護者)	82人
合計	146人

Q 休日の部活動が地域に移行されることで期待すること。※複数回答可 上位4つ



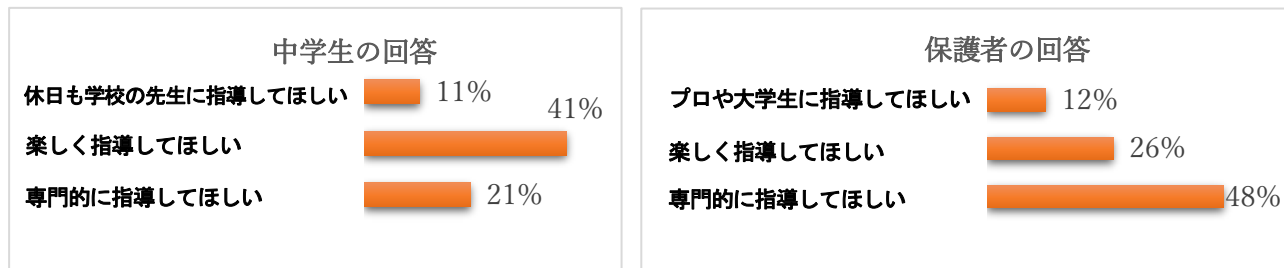
中学生は、「友達と楽しく活動ができること」保護者は、「体力や技術力向上に繋がること」を期待している回答が多かったが、期待する項目、上位4つは、中学生並びに保護者も同じ結果となった。

Q 部活動が地域移行されることで不安なこと。※複数回答可 上位4つ



中学生の回答では、「不安なことはない」が多かったが、「保護者の負担(送迎・応援等)」の回答が、中学生並びに保護者も多かったことは、活動場所が変わることによる送迎等の不安ということが考えられる。

Q 休日の部活動が地域に移行されることで指導者に求めること。※複数回答可 上位3つ



中学生は、「楽しく指導してほしい」保護者は「専門的に指導してほしい」が多い結果となったが、どちらも「指導の内容」を重視していることが考えられる。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果につきましては、今後の学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて参考にして参ります。